

2019—2020年度 Vol. 03
ガバナー月信

9 月号



Rotary International District 2570
GOVERNOR's MONTHLY LETTER
Vol.3 September 2019



基本的教育と識字率向上月間

教育機会を妨げているあらゆる障害を取り除くことから始めよう

ロータリーの友月間

「友」を通じて 世界と未来をつないでいきましょう

基礎的な教育が世界を救うというお話

国際ロータリー
第2570地区ガバナー 鈴木 秀憲

吹上



7月31日に、大妻嵐山高等学校で開催された「第53回インターアクトクラブ年次大会」へ参加してきました。

主催は、インターアクトクラブ顧問教師会ですが、設営・運営の殆どは顧問教師会の指導の下、生徒によって自主的に行われ、インターアクトクラブの目的「地区の部員が集い、研修を深め、部員相互の交流を図りながら活動の充実・発展に寄与する」にかなう活動を積極的に行っていると感じました。

開会セレモニーの後の鬼丸昌也氏のご講演は、私にとっても大変素晴らしい内容のものでした。この内容を皆様と共有したくて、今月の寄稿にしました。

講師鬼丸昌也氏は昭和54年生まれ。高校在学中に、アリヤトネ博士(スリランカの農村開発指導者)と出逢い、「すべての人に未来を造りだす力がある」と教えられたとの事。鬼丸氏はその後、立命館大学法学部を卒業の後、カンボジアを訪れ、地雷被害の問題を知り、これを世間へ伝える為に講演活動を始めたとの事です。

鬼丸氏の言葉には中々^{うんちく} 蘊蓄が有ります。

曰く「奉仕とは社会とのかかわりが大切。社会とのかかわりが無ければ、その奉仕活

動は単なるマスターベーション。」……

私が日頃言っている「世間から必要とされていない奉仕は、マスターベーションと言われかねない。」と同じではないか。

又、彼の別の言葉「チームとグループの違い」:チームとは、異なる考えや能力の人が集まって行動する事。グループは単なる集団。チームを纏めるには、コミュニケーションが大切:「他人の話をよく聞いて、自分の考えを丁寧に伝えて、一つにまとめる事。」

……共感する言葉だ。

彼の経歴をもう少し。22歳の時にカンボジアを訪れ、地雷被害の問題に接しこの問題を多くの人に知って貰う為、又被害者を支援する為にNGOを設立し活動を始めているとの事です。講演の前半では、地雷除去の話が中心です。日本に居ては実感がわかない話ですが、世界にはこの地雷がまだまだ多く存在し、被害に遭う人達が多くいるという。帰宅後にインターネットで調べたら年間に3,000名程が被害に遭っていると出ていました。



続いてウガンダ(アフリカ中央の東寄り。ケニアの西に位置)北部での元子供兵士の話です。紛争発生地域では、子供が誘拐され少年兵士に仕立て上げられ、襲撃の前線に立たされてしまう。少年兵士が自分の出身村を仕方なく襲撃してしまう場合もある(自分の母を撃たなければ、母と自分を殺すと言われ、仕方なしに母を撃ってしまった元少年兵

士もいた)との事です。非常にショッキングでした。そして紛争で怪我をしてしまった少年兵士は使い捨てられてしまうとの事です。

背景にあるのは、反政府組織「神の抵抗軍」と政府軍との戦いです。既に10年以上前に停戦合意し、ウガンダ北部では徐々にではあるが回復しつつあると言われます。一時期200万人以上いた国内避難民の帰還も完了しておりますが、元子供兵士は多くの精神的・肉体的な後遺症に悩まされている。鬼丸氏は既に2005年から自立支援事業を開始しているそうです。

又、「神の抵抗軍」は隣国のコンゴ民主共和国で今も活動を続けていると言われてます。ここコンゴ民主共和国には、天然資源(金や銅、ダイヤモンド、レアメタルと呼ばれる最近の工業製品の重要部品の原材料素材等)が豊富に産出される為、その争奪で紛争が起き、その手先に現地民が借り出され多くの犠牲を伴っていると言われてます。この状況は憂慮され現在は多くの規制がかかっている(日本製のパソコンやスマホにはコンゴ産レアメタルは使っていない)が、所謂闇取引の対象にもなり、未だに犠牲者が多いとの事です。講師の鬼丸氏によると、自動車やパソコン・スマホ等の重要部品の原料素材になっている場合がある。だからスマホなどを購入する時には良く考える必要があると訴えました。

又、鬼丸氏は、コンゴやウガンダなどの話をしながら、支援方法についての話をしました。現地人への生活支援や疾病治療、教育習得、その他の生活向上には、多額の費用を要するが、金銭支援も直接的には必要なものの、やはり自分で稼ぐ自立支援を行わなければ、支援は一時的なものに終わってしまう。金銭での支援は長くは続かない。彼らが自分達で調達出来る様に、農作物の

育成や家畜飼育を習得させる。或は自分で他所から収入を稼げるように加工技術などを習得させることが大切であるとも力説していました。



又、もっと大切な事は、やはり文字を読めるようになる事。文字が読めないから危険な事や危険な場所へ行ってしまう。文字が読めないから、教育を受けていないから善悪の判断に誤りが出てしまう。文字が読めないから、悪者に騙されてしまう。やはり基礎的な教育が何より大切であるという事です。

年次大会の午後の科目は、講演を聞いて生徒は、「自分達で何が出来るか？ 自分達で何をしなければならないか？」等についてのグループ討議を行いました。自分達が

使用しているスマホ製造にあたっての原材料調達の陰で犠牲になって居る人達がいる事、多くの若者がその犠牲になっている事に、少なからず驚きを感じたようで、世界の出来事に関心を持つ、友人に伝える、寄付をする、寄付につながる活動をする等から、物品購入はエシカル企業やSDGsに積極的な企業を選択する等という意見も出ていました。彼らにとってとても充実した一日であったと感じました。

基本的教育と識字率向上月間によせて

世界の「識字率向上」に、私たちができること

扱、紙面が残り少なくなりましたが、今月は基本的教育と識字率向上月間です。

識字率の向上が必要な事は前述した通りですし、ロータリーの重点分野の一つです。

具体的にお話ししますと、

まずは教師の養成が喫緊の課題です。全世界の子供達が初等教育を受けられるようにするにはあと170万人の教師が必要とされています。我々に何ができるでしょうか？…

- ① 教師向けの研修や教室備品を提供する。
- ② 貧しい地域でカリキュラム作成のための研修を提供する。職業研修チーム(VTT)を派遣。

等が考えられます。

次に生徒への支援を考えますと、全世界で5,700万人の子供達が学校へ通っていない。或は16歳以上の全世界人口の内、7億8,100万人(内女性が60%)が読み書き出来ない。と言う現状があります。我々にできる具体例としては、

- ① 授業や課外活動でボランティア教師をする。
- ② 成人向けの識字プログラムを開発する。集中言語能力助長プログラ

ムを支援する。廉価の教科書や参加型活動を取り入れたプログラムは、子供だけではなく成人の識字能力向上にも効果があると言われています。

- ③ ボランティアで地元の生徒たちの生活指導をする。
- ④ 給食システムや学校の給水・衛生設備を改善する事で、生徒の病欠を予防し通学し易い環境を整える。

等が思い浮かべられます。

文化的制約、安全面での懸念、家事や家計を子供たちが支えている現状等、

教育機会を妨げているあらゆる障害を取り除く。この事から進めなければならないと考えています。

それにしても、^{さき}前の大戦で日本が敗戦した後に、アメリカから来たGHQが日本の識字率が低いので民主化が遅れていると考え、教育制度改革の一環として、ローマ字化を検討したそうですが、成人2万人を対象にテストした結果、平均点78.3と日本人の識字率が非常に高い事に驚き、ローマ字化は諦めたとの逸話がある様です。

エシカル (ethical) とは、「倫理的」「道徳上」という意味の形容詞です。つまり、「法律などの縛りがなくても、みんなが正しい、公平だ、と思っていること」を示します。近年は、英語圏を中心に倫理的活動を「エシカル (ethical) ○○○○」と表現し、エシカル「倫理的=環境保全や社会貢献」という意味合いが強くなっています。身近な倫理的活動としては、主にエシカル消費が挙げられています

参考:フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』

詳しくはこちら👉

一般社団法人エシカル協会<https://ethicaljapan.org/ethical-consumption>



SDGs (Sustainable Development Goals) とは、持続可能な開発目標と訳され持続可能な開発の為の17のグローバル目標と169の達成基準(ターゲット)からなる国連の開発目標です。

2015年9月に国連で採択された「我々の世界を変革する 持続可能な開発の為の2030 アジェンダ(課題)」と題する、2016年から2030年に向けた具体的行動指針です。

参考:フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』

詳しくはこちら👉

外務省のJAPAN SDGs Action Platform

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>



会員増強・公共イメージ合同セミナー報告

会員増強・公共イメージセミナーは2019年7月14日(日)、東松山の紫雲閣にて行われました。約120名の出席者を集めて熱心に勉強していたと思われま。タイムスケジュールは下記のごとくでした。1部と2部に分けてセミナーを行いました。

12:30 登録

司会: 会員増強委員 中里 忠夫

13:00 点鐘

ガバナー 鈴木秀憲

「君が代」・「奉仕の理想」斉唱

公共イメージ委員: 五十嵐敦子

地区役員紹介

会員増強委員 井上博司

挨拶 ガバナー 鈴木秀憲

「ロータリーの友」より報告

地区代表委員 岡部みゆき

第1部

会員増強セミナーの意義

講師紹介

会員増強委員会・委員長 井埜利博

委員長より4月に都内のホテルオークラで行われた会員基盤セミナーに出席した際に、元RI理事の話と本日の講師、高崎RCの田中久夫PDGの話が印象に残ったことを報告しました。会員数の減少により、我が国は3ゾーンから2.5ゾーンへ縮

小されることになり、それに伴って理事数が一人となります。是非3ゾーン復活をかけて努力して頂きたい旨を話した。その後に講師紹介へ移りました。

13:45 基調講演「ロータリーの真髄

～それは仲間・親睦・奉仕～」

講師: 2840地区PDG

高崎RC 田中久夫様

田中久夫PDGは会長時代に大幅に会員数を伸ばし(1年で51名)、その後ガバナーに就任してからのさらに会員数の増加を達成。そのノウハウを話して頂き、当地区の会員増強計画の一助となるものと思われま。内容をまとめますと、

1. 新会員はロータリーに何を期待し入ったか?
2. 現会員はロータリーの現状・将来をどうおもっているか?
3. 高崎RCの実戦的方法
4. 新会員・現会員共に楽しむクラブライフ

を60分に渡りご講演いただきました。



公共イメージセミナー開催

「ロータリーって何?」を考え、行動する

7月14日紫雲閣にて「会員増強・公共イメージセミナー」が行なわれました。公共イメージに係る部分について御報告致します。鈴木秀憲ガバナーは第1地域公共イメージコーディネーターでありこの分野の第一人者で、御挨拶の中、御自身の思いや考え方を述べられたうえ、各クラブや会員が地域に密着し、行動する事が最も重要であるというお

話がありました。

具体的には公共イメージをUPさせ増強にも効果があると考えられる「地域毎のシンポジウム」の開催を提案して頂いて居ります。私より「公共イメージの意義」どんな組織・団体でも世の中の評価(イメージ)こそ大事であると。その後山本庄一副委員長の司会で「わがクラブの公共イメージ

プロジェクト」について各クラブの発表をお聞きしました。クラブの特徴や地域性が反映され興味深い内容でした。

さて、鈴木秀憲ガバナーは、日頃から「「ロータリーって何?」と問い、各クラブが個々に行っている奉仕事業を夫々が述べると、世間の方の受け止めが、バラバラになってしまう。どのクラブでも、どのロータリアンでも同じ答えが返らないと、世間の方々は戸惑ってしまう。そこで「ロータリーって何?」と問われたら、どのクラブでも、どのロータリアンでも同じ返答をし、その一環として当クラブでは〇〇奉仕活動を行っていますと言えば、世間の方々に解って頂ける。」と語っています。

これらを踏まえ当委員会としては、具体的プロ

ロータリーって何?
自分自身や自分の仕事を磨きながら
地域と国際社会に奉仕する団体です
あなたも参加しませんか?
Rotary



第2部

- 14:55 公共イメージセミナーの意義
公共イメージ委員会・委員長
西澤 堅
- 15:05 我がクラブの公共イメージプロジェクト
進行 公共イメージ委員
- 16:05 ガバナー補佐(第2松川厚子、第4村
田貴紀、第5新井啓介)の講評
- 16:15 講評および点鐘
ガバナー 鈴木秀憲



ジェクトを検討して参ります。ご支援宜しくお願ひ致します。

※日頃からガバナーが言っている「ロータリーって何?」の図柄を掲載します。

どのクラブでも、どのロータリアンでも共通な事は「ロータリーの目的」。

これを分かり易く簡単に表記しました。この図柄の積極活用を推進したいと考えています。

「ロータリーの友」を身近に



ロータリーの友地区代表委員 岡部みゆき

坂戸
さつき

私は「be a friend」田中一郎年度(坂戸クラブ)に入会しました。1995年3月のことです。大げさではなく、親族が入会を認められたことに大変喜び、ホームパーティーを開いた記憶があります。読み物が好きな私は、自分のロータリー活動の証として、入会以来ずっと「友」を書棚に並べました。膨大な量ですが、今でも続いています。その私が「友」の代表委員とは身にあまる光栄であります。私は、このことを厳粛に受け止め、①鈴木秀憲ガバナー率いる彩り豊かな第2570地区を全国に発信すること②脈々と「つながる」・第2570地区「友委員」の連携を密にして、この地区の未来に向けての「バトン」を「つなぐ」サポートをする。という二つの目標を掲げました。

しかし、ロータリー活動も、政治も経済も決して一人ではなりたちません。たった一人で笛を吹いても、多くの賛同者が動いてくれなければムーブメントを起こすことはできません。「友」の存在価値(レゾンデートル)を地区内のロータリアンが実感できる環境とは?その命題に向かってこの1年、知恵と工夫を凝らしていきたいと思ひます。

その一つが50クラブ訪問を考えています。

私が各クラブにお伺いをして「友」のPR時間をいただく。もちろん、「卓話依頼」でしたら、なおのこと大歓迎です。ぜひ、よろしくお願ひいたします。

もう一つが「今月の友のよみどころ」クラブ配信です。

「友のよみどころ」はクラブ独自ですすでに実行されているところもあるかもしれませんが、それはそれとして、地区代表委員の目でお伝えすることも自分に課せられた使命と思っております。そして、第2570地区、各クラブ、ロータリアンの皆様に「友」への投稿を最低1回、チャレンジしてほしいとおもひます。例えば個人的には「友」に投稿する、「友」に掲載される、例会で「友」が話題になる。(拍手)

例会プログラムを基本にすると「友」に投稿できるプログラムをクラブで考える→プログラム実施→「友」投稿→「友」掲載→例会で「友」掲載の喜びをシェア→また何かのプログラムを考える。

これこそが、クラブ活性化の好循環と思ひます。言い換えれば、クラブ活性化はロータリーの公共イメージの認知度の向上になり、会員増強クラブ強化となっていく。ぜひ、皆様には、この好循環の歯車を一緒に回していただきたいとおもひます。ロータリーはさまざまな歯車を仲間回すことにその醍醐味はあるのです。ポールハリスは仲間づくりのためにロータリーをつくりました。その根幹を胸に「友」でロータリーの未来をつないでいきましょう。「友」は一般紙にはない、情報が詰まった宝箱でもあります。「友」からはロータリー情報だけではなく、各界でご活躍の方の意外な側面を知ることも可能です。

ロータリーの友委員会 片山主水委員長はこうおっしゃっています。

「友」を購読→講読→好読していただかないと「友」の使命は果たせない。皆さまの負担にならない、抵抗感のない、ご自分にあった読み方、自然体で読む、負担のない好読が変じて愛読になることを祈っています。

(ロータリーの友令和元年7月号 抜粋)

国際ロータリー第2570地区のみなさん、「友」を通じて世界と未来をつないでいきましょう。ロータリーを未来につなぐ責任は今を生きる私たちの手にあります。そして世界を変える行動人に、あなたもなれるのですから。



社会奉仕セミナー報告

ロータリーの社会奉仕活動のあり方を考える

社会奉仕委員会委員長
水村 雅啓

入間



7月15日、東松山市民文化センター大会議室におきまして、社会奉仕セミナーを開催いたしました。当日は、梅雨の空模様となりましたが、会場は70名の参加者で熱気に包まれました。

今回の「社会奉仕セミナー」は、鈴木秀憲ガバナーの地区テーマの一つ「基本に帰る」を念頭に、「親睦」と「奉仕」を巡るロータリーの歴史を学び、そして、現在各クラブが行っている社会奉仕活動をもう一度見直す機会をつくることをテーマに行いました。

セミナーは、以下の通り盛りだくさんの内容となりました。

- ① 基調講演「ロータリーの社会奉仕活動 ～親睦と奉仕の歴史～」
- ② 事前アンケートの集計と事業発表 「これからのロータリー社会奉仕活動の方向」
- ③ ロータリー財団地区補助金の活用方法
- ④ アイバンク DVD「ヒ・カ・リ」鑑賞
- ⑤ ブライダル活動について

①の基調講演の講師は、坂本元彦戦略計画委員長です。ロータリー草創期の「親睦か奉仕か」をめぐる論争から1923年のセントルイス国際大会決議23-34の「超我の奉仕」「最もよく奉仕する



者、最も多く報いられる」、「実践哲学」など社会奉仕の歴史をご講演いただき、結びに、社会奉仕は、地域社会の人々の生活の質を向上させるための重要なプロジェクトであると話されました。非常に中身の濃い講演で、社会奉仕活動がロータリーの活動にとって如何に重要であるか再認識いたしました。

②は、事前に各クラブからアンケートにお答えいただいた集計資料をもとに進めました。社会奉仕活動の内容をお聞きした項目では、「青少年育成（スポーツ、文化）運動」が一番多く、次いで「地域交流（お祭りなど参加）」、「地域の美化運動」の順でした。集計の解説とともに参考となる5クラブから活動の内容を紹介していただきました。他クラブの活動を知ることはとても刺激となり、改めて地域のニーズに合った活動をどのように行うか、とても参考になりました。配布したアンケート資料は各クラブで活用願いたいと思います。

③の地区補助金については、細淵克則2016-17資金管理委員長から「当地区で10クラブ以上が活用していない状況です。申請は難しくないで、R財団委員会と連携して是非申し込んでください」との話をいただきました。これを機会にこの資金を有効に活用して、ロータリークラブの地域社会貢献事業として積極的に取り組んでいただきたいと思います。

アイバンク担当からは、献眼啓蒙DVDを上映し、アイバンク登録へのお願いをいたしました。ブライダル担当からは、10月19日に行うブライダルパーティに向けて参加者拡充のお願いと活動の意義を説明させていただきました。

このセミナーでの情報を生かし、地域社会との連携により多くの人々が笑顔になれる奉仕活動に取り組まれることを期待いたします。

ガバナー

公式 訪問

7月16日(火)

会長：藤井 潔
幹事：西川 孝博



ようこそ鈴木ガバナー

川越

私たちは補助金の活用に取り組んでいます。



現在、川越RCは財団補助金を寺子屋事業や4RC合同でのエンドポリオ事業に活用しており、また、今後グローバル補助金事業や川越4RC合同で財団補助金を活用したオリンピック記念事業に取り組めます。



7月17日(水)

会長：上原 実
幹事：三上 隆俊



志木

より意識を高める機会となった例会

終始、和やかな雰囲気にも包まれて



例会前の若手会員との懇談会から、公式訪問例会、クラブ協議会(グループディスカッション)の一連を通じ、今後のクラブ事業に取り組んでいく上で、出席した会員それぞれの意識をより一層高めていただけた貴重な機会となりました。



7

鈴木ガバナーとの語らい

本庄

会員数78名、入会3年未満会員22名の本庄RC

マローニー RI 会長の動画からスタートし、パワーポイントを利用してのわかりやすい卓話。入会3年未満会員とガバナーとの40分にわたる懇談はとて有意義で充実した一日でした。

7月18日(木)

会長：茂木 聡
幹事：斉藤 一英



公式訪問

川越中央ロータリークラブは アフターエイトも楽しく

川越
中央

公式訪問終了後はガバナーと懇親会



鈴木ガバナーの卓話の後、会員増強の為のフォーラムが、3グループに分かれて行われました。

本年度入会者1名の決定と予定者1名が予想され、本年度5名の予想も示され明るい兆しが見られました。

7月22日(月)

会長：長谷川健一
幹事：澤田 修



50年超在籍表彰と前年度地区協開催表彰!

今年度RIテーマ「つながる」を細部にわたって説明

寄居RC、川本RC合同の公式訪問例会が開催され、ガバナーから、50年超在籍の寄居RC酒井生力会員への表彰、前年度地区研修協議会開催幹事クラブである川本RCへの表彰が行われ、その後、寄居RCに七月入会の橋本さん、下条さん兩名の入会式が行われました。



7月24日(水)

会長：安齋治一郎
幹事：小宮 俊光

寄居

川本

会長：笠原 克己
幹事：鈴木 勇

ガバナー、みんなで迎えりゃ!?

7月23日(火)

深谷4RC合同鈴木秀憲ガバナー公式訪問



7月23(火)埼玉グランドホテルに於いて深谷市4ロータリークラブ(深谷、岡部、深谷東、深谷ノース)合同の鈴木秀憲ガバナー公式訪問が開催されました。

第1部の入会5年未満の会員との懇談会では、和やかな雰囲気の中、各会員の入会動機

が発表され、ガバナーとの意見交換がなされました。

第2部、公式訪問例会では各クラブ会長による発表に引き続き、ガバナーから今年度のRIのパワーポイントによる卓話を頂きました。

4RC合同で賑やかで楽しいひとときでした。

深谷

会長：熊谷 俊子
幹事：森田 敦



岡部

会長：柿木 左近
幹事：戸塚 勇



深谷東

会長：高橋 信介
幹事：大久保宏明



深谷ノース

会長：荻野 敏弘
幹事：小暮 建一





ぱっと花が咲いた例会!

市民を巻き込んだ素晴らしい活動と・・・



小さなクラブにとってガバナー、同補佐、地区幹事をお迎えすることは、一気に花が咲いたような風景になります。

ガバナーは、このクラブは人数は少ないが、「市民を巻き込んだ素晴らしい活動だ」と語っていただきました。



ロータリアンのプライド

行田

ロータリアンの世代間交流により得たもの



クラブ協議会においては、行田ロータリーを築き上げてきた先輩方と若手との意見交換が活発に行われロータリアンとして誇りと使命感をもって活動をする事の大切さを学び、鈴木ガバナーからは貴重な助言と総括を頂き感謝申し上げます。

7月25日(木)

会長：小椋 剛
幹事：野口 一信



7月29日(月)

会長：小川 正幸
幹事：石川 幸男



猛暑の中、熱い説明をいただきました。

ロータリーって何?

8月2日(金)

熊谷

会長：中島 正義
幹事：田中 治男

鈴木秀憲ガバナーをお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。例会に先立ち入会3年未満の会員7名との懇談会が開催され、入会後の感想などをテーマにロータリークラブのありようについてお話がありました。

例会後のクラブ協議会では「ロータリーって何?」ということから公共イメージについてお話をいただき、活発な意見交換がされました。





第2地域ロータリーコーディネーター **水野 功**

2019年7月から、第2地域ロータリーコーディネーターを担当することになりましたRID2750、2015-16年度ガバナーの水野功です。どうぞよろしくお願ひ致します。最初に第2地域のコーディネーター補佐3名の方をご紹介します。

剣田 廣喜氏 RID2630 2016-17年度ガバナー
ニックネーム KEN

神野 重行氏 RID2760 2017-18年度ガバナー
ニックネーム SHIGE

松坂 順一氏 RID2580 2018-19年度ガバナー
ニックネーム JUN

の3名の方々です。

各地区の様々なセミナーやグループでのIMなど、会員増強・維持、クラブ基盤の強化など、幅広いテーマの講師として、出来る限りのサポートをさせていただき所存ですので、お気軽にお声かけをお願い致します。また、各地区での新クラブや衛星クラブの拡大やローターアクトの活躍などの情報を共有させていただきたく存じます。日本事務局とも十分に連携して、これ

らの情報発信を強化したいと思います。

些か、旧聞になりますが、3月の地域リーダー研修では、マローニー会長から「共につながり、共に成長しよう」との力強いメッセージが出され、同時に地区会員増強委員長宛てにと、「GROW」と書かれたブルーのバッジを手渡され、各地区のガバナーと地区会員増強委員長にお届けしました。セミナーでは是非、ご着用いただきたくお願い致します。

さて、8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。時代にあったクラブの拡大は各地区の会員増強にとって大変実効性の高いものと考えます。2016年の規定審議会において、クラブの自由裁量権の拡大や柔軟性が認められましたが、多くの既存のクラブにとって、永年の慣行を変えるには多大な労力が必要であり、コンセンサスを取るのが難しいことが多いと感じています。例会時間や昼食の選択性など若い世代が入会しやすいクラブが必要と感じています。

クラブ拡大は、各地区の戦略計画に沿って、

ガバナー、エレクト、ノミニーが連携して、計画を立てる必要があります。単年度では難しいと考えます。マローニー会長は、既存のクラブが存在する地域にあっても、時代に合った新クラブの創設が必要であると強調されています。是非、クラブ拡大や衛星クラブの創設を考慮いただきたいと思います。

また、「ロータリーの友」11月号に100周年実行委員会が実施したアンケート結果が掲載されましたが、その中で最も印象的であったのは、各クラブとも会員増強・維持あるいはクラブ運営の問題意識は高いが、どのクラブもリーダーシップが課題であると指摘されていたことです。同年8月号に、会員増強の成功例として大宮西RCの取り組みが掲載されていますが、強力なリーダーシップが会員増強には何より不可欠である具体例が示されています。各地区・クラブに置かれては会長、会員増強委員長が強いリーダーシップを発揮され、実り多き年度となりますことを期待しております。

第2地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 **加藤 陽一**

ロータリーファミリー全員によるファンドレイジング - 『ワールド・フード+ふれ愛フェスタ』(WFF)

当地区では毎年名古屋市中心部の公園でファンドレイジングのイベントを開催しています。第6回は昨年10月27日と28日の2日間。好天に恵まれ、約7万人の来場者で盛り上がる中、協賛チケット、広告協賛、会場での寄付金などすべて前年度を上回り過去最高を記録しました。収益金は毎回ポリオ根絶への寄付とアジアの子供たちへの支援事業に使われており、今回はポリオ根絶基金への寄付(2万ドル)に加えパキスタンでの教育支援(3万ドル)を行いました。

地区内のロータリアンのほかインターアクター、ローターアクターや米山奨学生をはじめすべてのロータリーファミリー全員が協力

するお祭りで、会場内に多数仕込まれた「あと少し」の広報パネルとともに「ロータリーの認知度&公共イメージの向上」という大きな役割も果たしています。

特に昨年は『ポリオ根絶大使』のジュディ・オングさんにもご参加いただいてポリオ根絶活動について熱弁を振るっていただくとともに募金活動に参加いただきました。またジュディさんを招いてのチャリティディナー『エンドポリオ・ナイト』ではパキスタン、フィリピン、インドネシアから集まったロータリアンたちを含め200名を超える出席者たちから多額の寄付が集まりました。

収益金で寄贈したRotary Mobile Library

Unitには図書やタブレット、LEDスクリーンの他、ポリオワクチンの保冷庫も装備されており、遠隔地での教育支援とポリオ根絶の2つの役割を担っています。5月に当地区からの有志6名がパキスタンを訪れ、4台を寄贈してきましたが、必死にポリオ根絶や人道的支援活動に取り組む現地ロータリアンたちの熱い姿と温かいもてなしに感動したそうです。

ポリオ根絶まで『あと少し』。当地区では今年度もWFFの収益金でポリオ根絶基金への寄付とパキスタンでの教育支援事業を行います。そしてWFFを通してロータリーの認知度&公共イメージの向上をめざします。

新入 会員



羽生

田邊 将宏

アロハガス(株)
代表取締役社長
2019年6月18日
田邊正一・小野忠義



川越

山崎 共子

(株)亀屋
代表取締役
2019年6月25日
小高章・岩堀和久



新狭山

下田 秀夫

(有)秀和工業
代表取締役
2019年7月1日
玉川 雅仁



新狭山

竹内 克

(有)エアフォルク
代表取締役
2019年7月1日
小川 正幸



秩父

栗田 俊之

秩父太平洋セメント(株)
代表取締役
2019年7月2日
関根 昭文



飯能

西澤 英俊

(株)みずほ銀行飯能支店
支店長
2019年7月3日
山川 荘太郎



寄居

下条 誠

(株)ファンライフ
代表取締役
2019年7月3日
小宮 俊光



寄居

橋本 則彦

橋本則彦税理士事務所
所長
2019年7月3日
荻野 真仁



行田

鈴木 康正

(有)鈴木ハウジング
代表取締役
2019年7月4日
新井 誠

訃報 謹んで哀悼の意を表し、心から
ご冥福をお祈り申し上げます。

鈴木 正男様

ご逝去日
2019年8月6日
(享年78歳)

ロータリー歴
1982年1月19日入会
(在籍37年)

深谷東

表彰



- PHF** ポール・ハリス・フェロー
- MPHF** マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
- PHS** ポール・ハリス・ソサエティ
- MD** メジャードナー
- BF** ベネファクター
- 米山** 米山功労者
- 米山 M** 米山功労者マルチプル
- 米山MD** 米山功労者メジャードナー

BF **MD** **MPHF**



熊谷
龍原

並木 信二



秩父

星野 進



朝霞

佐藤 秀弘

PHF **米山 M** 7 **米山MD** 26



羽生

新井 裕喜



川越
西

片岡 紀男



皆野・
長瀬

宮前 英雄

米山 1 **米山 M** 3 **米山 M** 2



志木

宮原 俊介



朝霞
キャ
ロット

村山 正昭



朝霞
キャ
ロット

高橋 久男

The Rotary Foundation
RI 日本事務局
財 団 室
NEWS
8月号

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース
ハイライトよねやま
Vol. 232



WEBを
Check!



会員数・出席率 (2019年7月)

例 会 数	クラブ名	出席率 (%)		会員数 (人)										女性 会員		
		当 月	通 算	年 初 (7/1)	7 月 末 現 在	7月入会数		7月退会者		本年度入会数		本年度退会者			7 月 度 純 増 数	本 年 度 純 増 数
						0	0	0	0	0	0	0	0			
第1グループ (11RC)	川越	5	82.00	82.00	94	94	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	東松山	4	55.10	55.10	25	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	小川	4	78.56	78.56	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	坂戸	4	80.17	80.17	31	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	越生毛呂	4	66.50	66.50	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	川越小江戸	3	80.60	80.60	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	川越西	4	59.19	59.19	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	鶴ヶ島	4	94.00	94.00	29	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	川越中央	4	71.04	71.04	28	27	0	1	0	1	-1	-1	-1	-1	0	0
	坂戸さつき	2	80.00	80.00	20	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
東松山むさし	3	82.50	82.50	43	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
小計	41	75.42	75.42	328	327	0	1	0	1	-1	-1	-1	-1	22		
第2グループ (7RC)	朝霞	3	100.00	100.00	28	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	志木	5	96.95	96.95	47	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	富士見	3	69.20	69.20	45	44	0	1	0	1	-1	-1	-1	-1	0	
	新座	3	81.83	81.83	29	29	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	和光	2	83.33	83.33	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	朝霞キャロット	4	83.33	83.33	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	新座こぶし	3	91.70	91.70	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	小計	23	75.79	75.79	175	174	0	1	0	1	-1	-1	-1	-1	8	
	第3グループ (11RC)	入間	4	74.67	74.67	42	42	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		所沢	3	78.74	78.74	58	57	0	1	0	1	-1	-1	-1	-1	3
飯能		4	88.90	88.90	60	61	1	0	1	0	1	1	1	0		
新所沢		3	91.23	91.23	20	21	1	0	1	0	1	1	1	2		
日高		4	62.50	62.50	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
所沢西		4	90.00	90.00	29	29	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
新狭山		4	70.26	70.26	15	17	2	0	2	0	2	2	2	0		
所沢東		4	90.19	90.19	44	44	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
入間南		4	87.21	87.21	43	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
所沢中央		4	84.80	84.80	24	24	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
狭山中央	3	88.73	88.73	30	30	0	0	0	0	0	0	0	0	5		
小計	41	82.48	82.48	384	387	4	1	4	1	3	3	3	21			
第4グループ (11RC)	深谷	5	69.57	69.57	57	57	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
	本庄	4	77.30	77.30	78	78	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	秩父	5	82.40	82.40	50	51	1	0	1	0	1	1	1	1		
	寄居	3	93.33	93.33	23	25	2	0	2	0	2	2	0			
	児玉	2	100.00	100.00	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0		
	岡部	4	83.97	83.97	14	14	0	0	0	0	0	0	0	1		
	深谷東	4	70.50	70.50	67	67	0	0	0	0	0	0	0	0		
	川本	3	78.00	78.00	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0		
	皆野・長瀬	3	75.70	75.70	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0		
	本庄南	4	86.67	86.67	15	16	1	0	1	0	1	1	1	2		
深谷ノース	4	82.81	82.81	32	32	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
小計	41	81.84	81.84	358	362	4	0	4	0	4	4	4	22			
第5グループ (10RC)	熊谷	4	66.37	66.37	89	88	0	1	0	1	-1	-1	-1	3		
	行田	3	59.60	59.60	64	65	1	0	1	0	1	1	5			
	羽生	4	66.15	66.15	48	48	0	0	0	0	0	0	0	4		
	加須	4	79.98	79.98	27	27	0	0	0	0	0	0	0	1		
	熊谷西	2	67.00	67.00	9	8	0	1	0	1	-1	-1	-1	0		
	行田さくら	4	68.60	68.60	50	51	1	0	1	0	1	1	2			
	熊谷東	4	78.58	78.58	28	28	0	0	0	0	0	0	0	2		
	吹上	3	100.00	100.00	7	9	2	0	2	0	2	2	2			
	熊谷籠原	4	83.65	83.65	28	28	0	0	0	0	0	0	0	0		
	熊谷南	2	56.80	56.80	22	22	0	0	0	0	0	0	0	2		
小計	34	72.67	72.67	372	374	4	2	4	2	2	2	2	21			
50RC	男性会員数		77.85	77.85	1526	1530	9	5	9	5	4	4	4	4		
	女性会員数				91	94	3	0	3	0	3	3	3	3		
	合計				1617	1624	12	5	12	5	7	7	7			

スケジュール (2019年9月・10月)

9月	8 (日)	R米山記念奨学委員会/研修旅行(米山梅吉記念館訪問・墓参り)	
	9 (月)	(公式訪問)東松山・小川・東松山むさし合同	
	10 (火)	(公式訪問)朝霞	
	11 (水)	(公式訪問)川越小江戸・川越西合同	
	13 (金)	(公式訪問)富士見	
	17 (火)	(公式訪問)秩父・皆野長瀬合同	
	18 (水)	(公式訪問)加須	
	28 (土)	研修委員会/RLIパートI	
	10月	6 (日)	ロータリー財団委員会/第2回オリエンテーション 青少年奉仕委員会/第2回オリエンテーション
		7 (月)	(公式訪問)和光
8 (火)		(公式訪問)羽生	
10 (木)		(公式訪問)越生毛呂	
15 (火)		(公式訪問)行田さくら	
17 (木)		(公式訪問)新座	
19 (土)		社会奉仕委員会/プライダグパーティー	
21 (月)		(公式訪問)所沢・新所沢・所沢西・所沢中央合同	
22 (火)		(公式訪問)吹上	
24 (木)		(公式訪問)所沢東	
30 (水)	(公式訪問)熊谷西・熊谷東・熊谷籠原・熊谷南合同		

財団・米山表彰解説

ポール・ハリス・フェロー

PHF

年次基金、ポリオプラス、承認された財団補助金のいずれかに1,000ドル以上を寄付した方。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

MPHF

年次基金、ポリオプラス基金、または財団が承認した補助金プロジェクトに追加で1,000ドル以上をご寄付いただくごとに、「マルチプル・ポール・ハリス・フェロー」として認証されます。

ポール・ハリス・ソサエティ

PHS

毎年合計1,000ドル以上を、年次基金、ポリオプラス基金、またはロータリー財団が承認した補助金プロジェクトに寄付する方。

メジャードナー

MD

累積寄付の合計が10,000ドルに達した方。

ベネファクター

BF

遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を受益者として指定した方、または恒久基金に1,000ドル以上を現金で寄付された方。

米山功労者

米山

個人の特別寄付金の累計が10万円に達した方。または一度に10万円もしくはそれ以上の特別寄付をされた方。

米山功労者マルチプル

米山M

特別寄付金累計が20万円となると、第2回米山功労者マルチプルとなり、以降10万円ごとに第〇回米山功労者マルチプルマルチプルとなります。

米山功労者メジャードナー

米山MD

特別寄付金累計が100万円、第10回米山功労者メジャードナーとなり、以降10万円ごとに第〇回米山功労者メジャードナーとなります。

ガバナー月信 第3号

2019年9月1日発行

今月の表紙:

小藤恵美子: 研修委員会委員 (左)

鈴木 早苗: 第2G 和光ロータリークラブ幹事 (右)

2019-2020年度ガバナー 鈴木 秀憲

国際ロータリー第2570地区 地区事務所
〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号
ガーデンホテル紫雲閣内

TEL (0493) 21-2570 FAX (0493) 21-2571

E-mail = d-office@mail.rid2570.gr.jp

Website = https://www.rid2570.gr.jp

月信原稿送信先 = info2019@rid2570.gr.jp